

居住支援における住宅と福祉の 効果的な連携施策に係る事例集



東京都居住支援協議会



目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	01
Ⅰ．東京都内の自治体事例	
事例 01 東京都目黒区・・・・・・・・・・・・・・・・	02
事例 02 東京都豊島区・・・・・・・・・・・・・・・・	06
事例 03 東京都板橋区・・・・・・・・・・・・・・・・	10
Ⅱ．東京都以外の自治体事例	
事例 04 神奈川県藤沢市・・・・・・・・・・・・・・・・	14
事例 05 埼玉県さいたま市・・・・・・・・・・・・・・・・	17
事例 06 愛知県名古屋市・・・・・・・・・・・・・・・・	20
事例 07 愛知県岡崎市・・・・・・・・・・・・・・・・	24
事例 08 神奈川県座間市・・・・・・・・・・・・・・・・	27
事例 09 千葉県船橋市・・・・・・・・・・・・・・・・	31
事例 10 神奈川県・・・・・・・・・・・・・・・・	34
まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37

はじめに

東京都では、東京都居住支援協議会を設置し、その事務局として区市町村協議会の設立促進及び活動支援を行っています。これまで、区市町村協議会の支援の一環として、各種セミナーの開催やパンフレット作成等による情報提供、普及啓発などを幅広く実施してきました。また、昨年度は、区市町村の実務担当者向けに、相対応のための入門的なヒント集として、相談事例集を作成し、配布することで区市町村協議会の活性化を図ってきました。

住宅確保要配慮者の属性、環境、ニーズ等は多様化しており、要配慮者の方々が地域で安心して暮らし続けていくためには、住宅分野と福祉分野が連携して居住支援に取り組んでいくことが重要です。

国においても両分野の連携を推進していますが、各自治体における居住支援の体制が異なる中、どのように連携を進めてよいかわからない区市町村も多いと思われます。

本冊子は、先進的に取り組んでいる自治体の事例を参考に、居住支援の取組状況、相談支援の体制、住宅部局と福祉部局の連携体制等についてまとめたものです。区市町村協議会のさらなる活性化、住宅分野と福祉分野の連携の足掛かりの一助となれば幸いです。



東京都目黒区の実践

協議会設立：令和4年5月

協議会事務局：福祉総合課

ワンストップ型相談支援体制の充実

目黒区では、地域福祉団体・不動産団体・行政が連携し、居住支援に関する情報共有や必要な支援策の検討・協議を行う会議体として、令和4年5月に居住支援協議会を設置した。

また、平成31年度に福祉総合課に設置した「福祉の相談窓口（福祉のコンシェルジュ）」において、生活支援と一体的に住まいの相談支援を行うことでワンストップ型の相談支援体制の充実を図っている。

居住支援の実践

取組の背景

地域包括ケアシステムの理念に基づいた居住支援

- » 国においては、団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）をめどに、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進している。
- » 目黒区においては、地域包括ケアシステムの理念を踏まえ、高齢者、障害のある方、生活に困窮している方、複数の課題を抱える方等に対して、福祉の各分野を超えた包括的な相談支援体制を構築するため、平成31年度に福祉総合課に設けた「福祉の相談窓口（福祉のコンシェルジュ）」を中核として、相談支援の機能強化を図ってきた。
- » 高齢化の進展、家族構成の変化、コロナ禍での生活困窮者支援等に伴い、社会経済状況が大きく変わっていく中で、だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、行政の福祉部局と住宅部局等の関係部局、地域福祉団体及び不動産団体等による一体的な取り組みが求められていた。

居住支援協議会の設立

- » 住宅確保要配慮者の居住支援にあたっては、民間賃貸住宅の入居促進のみならず、様々な福祉サービスを活用して居住の安定を図る必要があった。
- » また、コロナ禍において、休業や離職等に伴う収入減少により、住居を失うおそれのある困窮者の相談対応や住居確保給付金の支給が増加し、住まいの確保や就労等の複合的な課題を抱える世帯も増加していた。こうした状況をはじめ、国・東京都や区の施策を踏まえ、これまでの生活困窮者支援との一体的な総合相談を行うとともに、住宅確保要配慮者に対する安定的な居住支援が喫緊の課題となっていた。
- » これらの課題や経緯をふまえ、令和4年5月に「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律」に基づき、福祉総合課が事務局を担う形で居住支援協議会を設立した。

協議会の活動

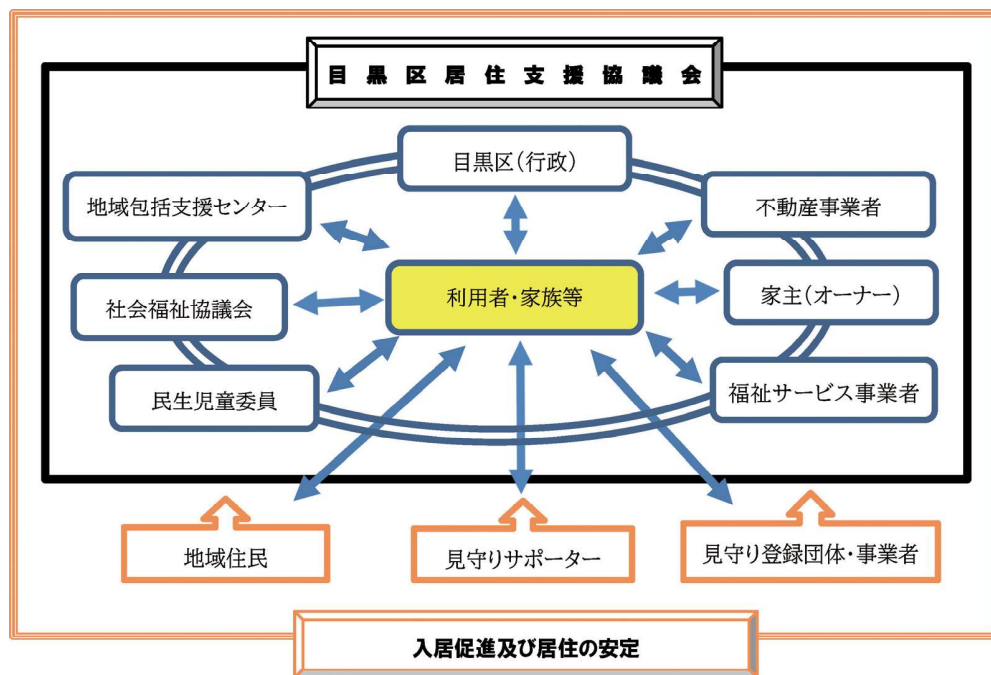
協議会の設置目的

- » 住宅確保要配慮者に対し、地域福祉団体・不動産団体・行政が相互に連携し、居住支援に関する情報共有や必要な支援策の検討・協議を行う会議体としての性格を有するとともに、福祉型の居住支援施策を推進することにより、住宅に困窮する人々の居住支援を行い、地域福祉の向上を図ることを目的として設置した。

協議会の主な活動

- » (1) 居住支援施策に関する意見及び検証
- » (2) 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への円滑な入居促進及び居住の安定
- » (3) 地域福祉団体・不動産団体・行政との連携及び情報共有
- » (4) 家主（オーナー）・不動産事業者への講演やセミナーの開催
- » (5) 区民向けに居住支援制度や関連サービスの周知・啓発

活動の連携（イメージ図）

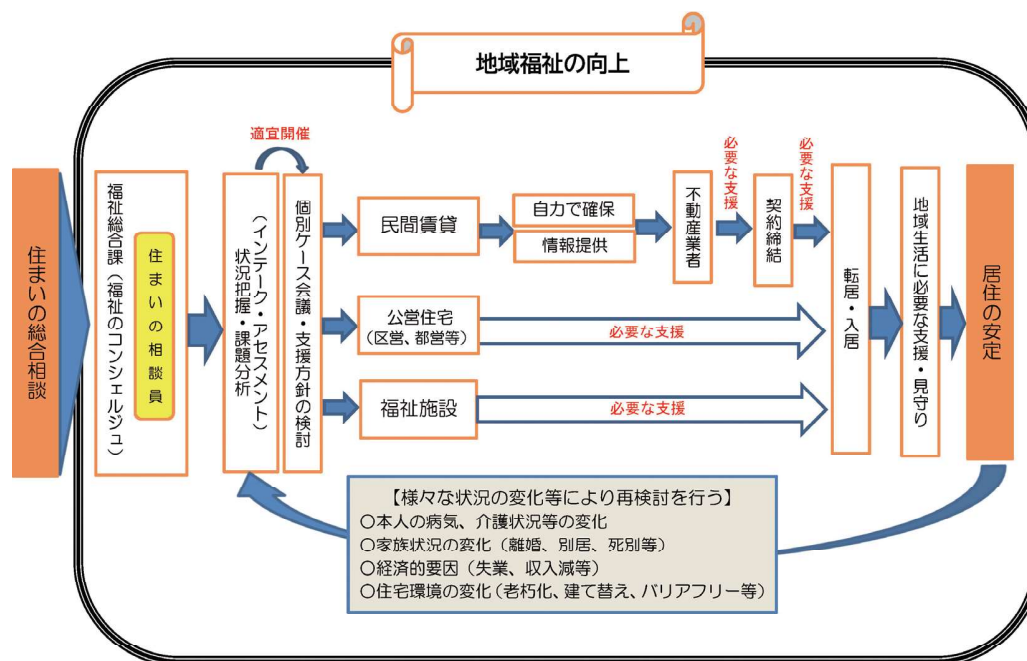


相談支援体制 —福祉型の居住支援施策の推進—

ワンストップ型相談支援体制の推進

- » 区の包括的な相談支援機関である「福祉の総合相談窓口（福祉のコンシェルジュ）」では、制度や分野ごとに分かれた縦割りの支援ではなく、福祉のさまざまな相談を受け止め、相談者に寄り添い、解決に向けてサポートしている。
- » 生活支援と一体的に住まいの相談支援を行うことで、ワンストップ型相談支援体制の充実を図っている。
- » 住宅確保要配慮者の居住支援に係る総合的な相談支援業務については、専門相談員（住まいの相談員）が中心となっていく。

福祉型住まいの相談体制（フロー図）



！ポイント

居住支援に係る総合的な相談支援業務は、入居までの支援はもちろんのこと、入居後の借主の見守りを福祉部門で行ったり、高齢の借主の介護や判断能力、死後のことが心配な大家や不動産屋への対応をしたり等、入居後も幅広い支援を行っている。

福祉中心の多機能連携体制を構築

- » 協議会設立前から、「福祉の総合相談窓口（福祉のコンシェルジュ）」において、生活困窮にかかる相談及び地域包括支援センターの後方支援と虐待対応並びに認知症や保健に関する相談・支援等を総合的にワンストップで行っていたことから、その多様なノウハウとネットワークを生かす形で福祉部局が中心となって事業を進めている。
- » 相談者一人ひとりの状況に応じて、必要な支援や機関につなげ、具体的に関連する各事業やサービスの活用を図っている。

住宅部局と福祉部局との連携体制

行政の執行体制の着実な連携

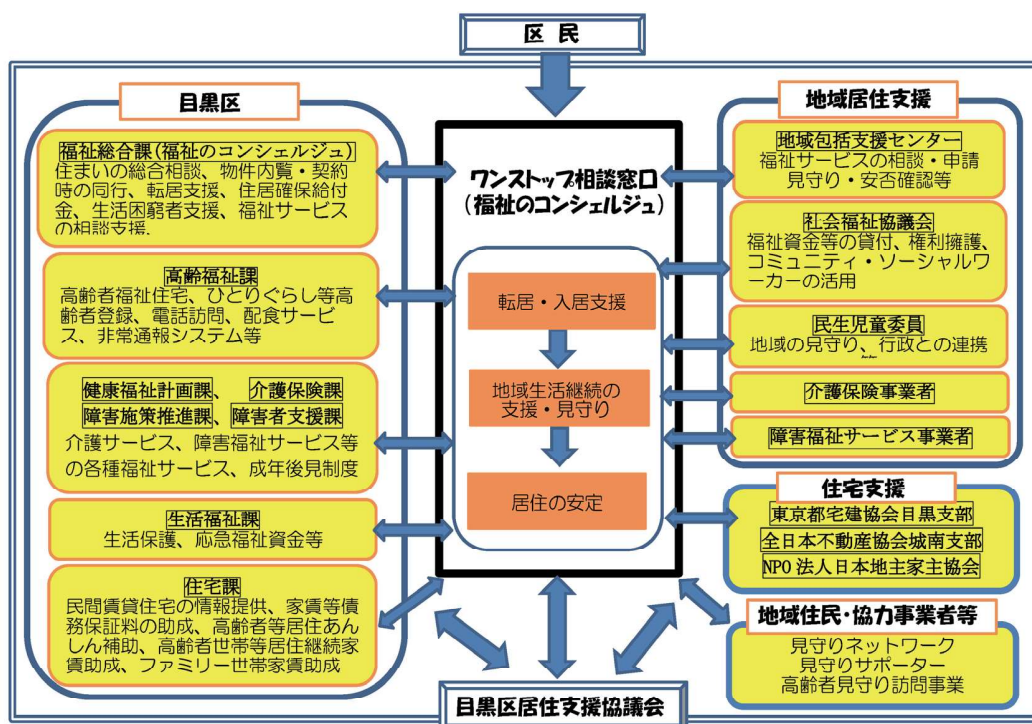
- » 平成 30 年度から住宅確保要配慮者に対する居住支援の取組を推進することを目的に、住宅部局と福祉部局が共同事務局を務め、子育て支援部局も含めた計 11 課による会議「住宅確保要配慮者の居住支援に係る庁内連携会議」を通して、住宅セーフティネット機能強化のため、連携強化に努めている。
- » さらに、令和元年度から、保健福祉分野の横断的な包括的相談支援体制の充実のために設置した「生活困窮及びふくしの相談庁内連携会議」を通して、8 部局 21 課にわたって居住支援の取組も推進している。また、連携会議の下部組織として、委員の所属する課等の係長を構成員とする実務者会議を置くことができ、具体的な情報共有及び事例検討等を通して、連携強化と各課におけるソーシャルワーク機能の向上を図っている。

» 福祉の総合相談窓口（福祉のコンシェルジュ）において受けた住まいに関する相談については、住宅部局で実施している民間賃貸住宅の情報提供事業の活用や家賃助成等の相談につなげ、住宅部局において受けた住宅確保要配慮者の相談は、福祉のコンシェルジュと日常的に連携を図りながら、双方の担当職員間の顔の見える関係が構築されている。

イベント等を通じた連携

- » 木造住宅密集地域における「老朽住宅に居住している高齢者等の新たな住まい確保」と「老朽建築物の除却・建替え」を促進するため、住宅事業者及び他自治体を対象として木密地域整備担当と住宅部局、福祉部局が連携して、木密地域からの住み替えや高齢者等が安心して住み続けられる支援制度及び取組を紹介する不燃化建替えセミナー「防災×福祉の住まいづくり情報交換会」を令和6年3月に実施した。
- » 地域包括支援センターが開催する区民を対象とした講演会において、空き家対策担当所管が、空き家に対する施策や空き家にならないための予防対策の講演を行い、様々な形での連携を試みている。

居住支援体制の全体図（イメージ）



東京都目黒区

人口：28.0万人／世帯：16.0万世帯（令和6年1月現在）

参考URL：目黒区居住支援協議会

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/kyojuushien/index.html>

